

2010年4月26日
世界自動車調査月報編集長 安田晃史

世界自動車生産、2009年は前年比13%減の6,220万台に縮小

謹啓、時下益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

平素より、当社の調査・業務出版業務にご協力頂き、誠にありがとうございます。

さて、当社では「FOURIN 世界自動車調査月報 2010年5月号(2010年5月5日発刊)」にて、『2009年世界自動車生産』をテーマとしたレポートを取りまとめましたので、ご案内を申し上げます。

**2009年世界自動車生産台数は前年比13.1%減の6,218.4万台に縮小
中国が448.9万台増の1,378.8万台に拡大し日本を抜き生産世界1位に浮上
トヨタグループが747.7万台、GMが667.4万台に縮小、VWグループが644.0万台で3位**

FOURINは各国自動車工業会及びそれに準ずる機関のデータを基に世界47カ国の自動車生産台数を集計しました(生産台数にはKD組立によるダブルカウントを一部含む。各社ともOEM供給分は相手先ブランドに含む。チリの自動車生産は2007年で終了したため2008/2009年は世界46カ国が対象)。2009年世界自動車生産台数は前年比13.1%減の6,218.4万台となりました。2008年後半から2009年前半まで続いた自動車需要の冷え込みに伴い、前年比で940万台減り、6,000万台強の水準にまで落ち込みました。

北米は市場低迷で32.3%減の875.3万台に急減しました。欧州では、ドイツなどで実施された買い替えインセンティブの影響で一部の小型乗用車や低価格ブランド車の生産が伸びましたが、高級車や中・大型商用車の減産を補えず、西欧全体で19.8%減の1,238.5万台に縮小、中・東欧はロシア、ウクライナの激減もあり29.4%減の468.6万台に落ち込みました。一方、中国は国内市場の好調で生産台数が48.3%増の1,378.8万台に拡大し、国別で生産世界1位に浮上しました。中国は前年比で450万台増え、日本を抜いただけでなく、北米、西欧の生産規模を超えました。また、インドは12.8%増の262.8万台に増加、ブラジルは1.1%減の318.5万台と前年並みの水準を維持しました。

メーカー別では、トヨタグループが21.3%減の747.7万台、GMが23.7%減の667.4万台と日米メーカーの落ち込みが目立つ一方で、米国依存度が低く中国など新興市場でのプレゼンスが高いVWグループは6.1%減の644.0万台と減産を小幅にとどめ明暗が分かれました。また世界各地で販売が好調な現代/起亜は生産台数が6.5%増の532.9万台に拡大し、主要グループの中では唯一プラスとなりました。

ご参考までに、『2009年世界自動車生産』レポートの1ページ目を添付いたしました。全レポートをご覧になりたい場合、またはご不明な点やご質問がありましたら、「FOURIN 世界自動車調査月報」編集長の安田(TEL : 052-789-1136、FAX : 052-789-0966、E-mail : a.yasuda@fourin.com)までご連絡下さい。

世界自動車生産、2009年は13%減の6,220万台、 中国が日本を抜き世界生産1位に浮上

FOURIN は各国自動車工業会及びそれに準ずる機関のデータを基に世界 47 カ国の自動車生産台数(注記参照)を集計した。2009年世界自動車生産台数は前年比 13.1%減の 6,218.4 万台となった。2008 年後半から 2009 年前半まで続いた自動車需要の冷え込みに伴い、北米、日本が 3 割減、西欧が 2 割減と落ち込み、中国など一部新興国の生産拡大があったものの、世界生産は前年比で 940 万台減り、6,000 万台強の水準に低下した。

北米は 3 カ国の市場低迷で 32.3%減の 875.3 万台に急減。欧州では、ドイツなどで実施された買い替えインセンティブの影響で一部の小型乗用車や低価格ブランド車の生産が伸びたが、高級車や中・大型商用車の減産を補えず、西欧全体で 19.8%減の 1,238.5 万台に縮小。中・東欧はロシア、ウクライナの激減もあり 29.4%減の 468.6 万台に落ち込んだ。一方、中国は国内市場の好調で生産台数が 48.3%増(448.9 万台増)の 1,378.8 万台に拡大した。31.5%減の 793.5 万台に縮小した日本を抜き、国別で世界 1 位に浮上しただけでなく、北米、西欧の生産の生産規模を上回った。また、インドは 12.8%増の 262.8 万台に増加、ブラジルは国内市場が伸びたものの周辺諸国向けの輸出が減少したため、1.1%減の 318.5 万台と前年並みの水準を維持した。

メーカー別では、トヨタグループが 21.3%減の 747.7 万台、GM が 23.7%減の 667.4 万台と日米メーカーの落ち込みが目立つ一方、米国依存度が低く中国など新興市場でのプレゼンスが高い VW グループは 6.1%減の 644.0 万台と減産を小幅にとどめ明暗が分かれた。また世界各地で販売が好調な現代/起亜は生産台数が 6.5%増の 532.9 万台に拡大し、主要グループの中では唯一プラスとなった。

北米では GM と Ford が 2009 年 1~3 月に前年同期比 2~3 倍近く的大幅増産を計画。また日本の生産台数は 2010 年に 900 万台超への回復が見込まれ、国内需要が旺盛な中国、インドでも増産が続く見通しである。欧州では、西欧市場での 2009 年の買い替えインセンティブ効果の反動で大衆車の生産が落ち込む懸念があるものの、高級車と商用車の生産は回復に向かう見込みである。このため世界自動車生産台数は 2010 年に前年を上回ることが確実な見通しとなっている。(安田)

注) 生産台数には KD 組立によるダブルカウントを一部含む。各社とも OEM 供給分は相手先ブランドに含む。

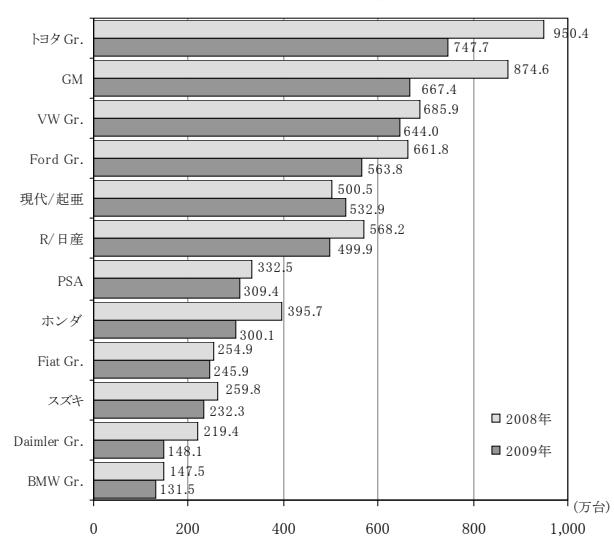
【世界、自動車生産台数上位 15 カ国(2004/2009 年)】

(単位: 台)				
	国	2004年	国	2009年 (2004年比)
1	米国	11,960,354	中国	13,788,239 (173.5%)
2	日本	10,511,518	日本	7,934,516 (▼24.5%)
3	ドイツ	5,569,954	米国	5,699,523 (▼52.3%)
4	中国	5,040,859	ドイツ	5,209,857 (▼6.5%)
5	フランス	3,665,990	韓国	3,512,926 (1.3%)
6	韓国	3,469,464	ブラジル	3,185,243 (37.5%)
7	スペイン	3,012,173	インド	2,627,920 (73.9%)
8	カナダ	2,711,536	スペイン	2,170,078 (▼28.0%)
9	ブラジル	2,317,227	フランス	2,047,658 (▼44.1%)
10	英国	1,856,539	メキシコ	1,564,169 (▼0.3%)
11	メキシコ	1,568,584	カナダ	1,489,651 (▼45.1%)
12	インド	1,510,842	イラン	1,344,425 (48.6%)
13	ロシア	1,388,628	英国	1,090,139 (▼41.3%)
14	イタリア	1,142,105	タイ	999,378 (7.7%)
15	タイ	928,081	チェコ	974,569 (117.5%)

注) イランは各年度(3月21日~翌年3月20日)の組立台数で 2009 年は推定値。

(各国自工会及びそれに準ずる機関のデータ、各種報道より FOURIN 作成)

【主要自動車メーカーの世界自動車生産規模比較 (2008/2009 年)】



注) Ford、Renault/日産(R/日産と表記)、Fiat、スズキ、Daimler はイランの組立台数を含まない。

(各社広報資料、各国自工会及びそれに準ずる機関のデータより FOURIN 作成)